

迎古夢旅 4682 : 黄山・足跡地図 P101



この旅では、黄山が目的だった。12月中旬、中国へ。下旬から新年は黄山だった。

下記、歩き回った。若いガイドさんと相談して、黄山から出ない約束で、連日、トレッキング。半端ない高低差の上、足元は氷結。厳しかっただけに、面白い出会い。



上図、わかりにくいですが、点線は、手前と向こう側の、ケーブルカー。ケーブルカーに沿って、急坂の階段。訓練していたので、楽しめたが、何度も、登りたくない。それだけに、心に残る、貴重な体験だった。

向こう側のケーブルカー、雪道を、下山したのはいいが、午後四時が最終。歩いて上られる状況ではない。宿はない。夜は、氷点下になるらしい。村人が集まってきた。駅の片隅で、一夜を過ごすからと表現したが、命が危険と。

見知らぬ家に無料で泊めてもらった。電話などない。山上の宿は無断外泊。翌朝の、朝餉の、美味しかったこと。空腹は最高のご馳走。手を合わせて、何度もお礼を。最後には、断っておられたが、お礼を受け取ってもらった。日本からのひとり旅。過疎。皆さん、大変親切だった。今も、心の財産。